



必要のない見守り業務はゼロへ。



毎日変化する
転倒ハイリスク者を可視化

特許取得
特開2021-131577

“認知症の人の能力は日々変化する”

転倒ハイリスク者を特定できず、見守り業務に振り回される



- 誰かが転倒するかもしれない
夜勤が不安...
- アラートに振り回されて
心身共に辛い...
- 転倒事故の原因を責められ
ないか不安...

労働力不足による
経営難

- 離職の増加
- 採用費の高騰
- 転倒事故後の対応コスト増加



Reha3.0
リハサン

3つのポイント

1 毎日変化する転倒ハイリスク者を可視化

リスク度：「危険」・「注意」・「配慮」

状態：「起床」・「覚醒」・「睡眠中」

2 リスク度に応じて起床アラート通知

危険者が起床するとアラートが鳴る
(任意でアラートを鳴らすことも可能)

3 徘徊アラート通知

例：夜間に起床が15分間継続しているとアラートが鳴る
(時間帯、徘徊時間など設定可能)



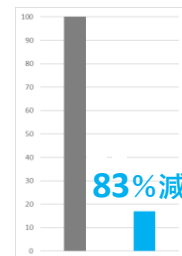
導入効果 ※1

センサーアラートを必要最小限に
できる！（83%削減）

夜間人員を必要最低限にできる！
(2割削減)

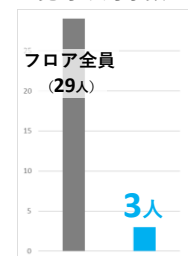
予測不能な転倒事故が発生した際、
客観的のデータに基づき状況を
整理できる！

センサーアラート数



こんなに静かな
夜勤は初めて！

見守り対象数



不安、ストレスを
感じなかった！



※1 特別養護老人ホーム 浄風園で検証

Rehabilitation3.0株式会社

<https://rehabilitation3.jp/>

Tel 06-4965-3231



<大阪オフィス>

〒530-0057 大阪府大阪市北区曽根崎2-16-19
メッセージ 梅田ビル 1階 ONthe UMEDA内

<東京オフィス>

〒105-6415 東京都港区虎ノ門 1-17-1
虎ノ門ヒルズ ビジネスタワー 15階